

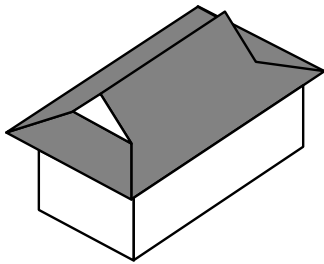
用語解説

伊集院由緒記…伊集院郷相談役大迫助右衛門が書いた「由緒記」は、「三国名勝図会」の伊集院に関する部分の原本といわれ、これを書き写したものが「伊集院由緒記」である。

井堰…水をせき止める目的で河川や湖沼などに設けられる構造物。

板碑…主に供養塔として使われる石塔の一種で、板石卒塔婆、板石塔婆とも呼ばれる。

入母屋造…寄棟造に切妻が入っているもの。(屋根の途中で角度が変わっているように見える。)



雲竜紋…雲の間を飛翔する「竜」を文様化したもの。竜は、鳳凰とともに古代中国で作られ出した想像上の動物である。



鹿兒島市山田町の田の神の台座の雲竜紋

格護人…薩摩藩の田地を占有または保護する役目。

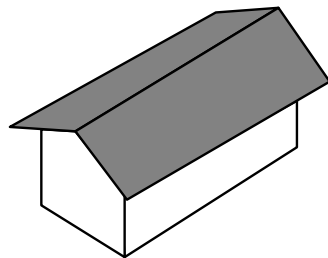
笠塔婆…亡くなった人を供養するためにつくられた石製の塔。上に笠のような石がのっているので、笠塔婆という。

門割制度…江戸時代、薩摩藩で実施された土地制度。薩摩藩では門と呼ばれる単位で農民を分割し耕地を配分した。一定期間耕作したのち検地によって耕地を割替えることをたてまえたので、農民は土地を所有できず門を通して掌握されていた。

帰依…よりどころにするということで、「三宝に帰依する」など仏教徒になるという意味で多く使われる。

逆修供養…生きている間に自分の死後に対して、または自分より若くして亡くなったものに対して冥福を祈る法要のこと。

切妻造…2つの面を合わせた屋根で、切妻(屋根の山型の断面)が見える屋根。



講(講人)…神社・仏閣への参詣や寄進などをする信者の団体、また貯蓄や金の融通のために組織した相互扶助の団体。

庚申供養…庚申とは十千十二支という「庚申」のことで、この日の夜は眠ると人間の体に住む三匹の虫が天にのぼって、その人の罪を天の神に告げるといので、その日一晩中、眠らないで夜を明かすならわしがあり、その供養のために石碑などが建てられた。

コシキのシキ…甑は米などを蒸すための道具。シキは甕と甑の間に敷くわらで編んだもの。



コシキのシキ

三国名勝図会…江戸時代後期に薩摩藩が編纂した薩摩国、大隅国、及び日向国の一部を含む領内の地誌や名所を記した文書。

杓子…飯または汁などをすくう台所用具。シャモジ、またメシゲともいう。

厨子…仏像・仏舎利・教典・位牌などを納める仏具の一種である。広義では仏壇も厨子に含まれる。



調所広郷木像(厨子付)
(鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵)

征韓論…明治初期において、西郷隆盛などによってなされた、武力をもって朝鮮を開国しようとする主張のこと。ただし西郷の主張は、出兵ではなく開国を勧める遣韓使として自らが朝鮮に赴くものであることから、「遣韓論」とする説もある。

石祠…石のほこら。内部に仏像、神像等が納められている場合もある。

石碑…人が何らかの目的をもって銘文を刻んで建立した石の総称。

太鼓橋…太鼓の胴のように真ん中が半円形に反った橋。



大乗院橋

手水鉢…神前，仏前で口をすすぎ，身を清めるための水を確保するための器。



花尾神社の手水鉢

追捕使…日本の律令制下の令外官の一つ。警察・軍事的官職。初めは臨時の官職であったが，後に諸国に常設されるようになった。

丹塗り…丹(赤い色)または朱で塗ること。



稲荷神社の鳥居

野町…幹線道路沿いにあちこちに見られる商人たちの住む商業地区で，農家集落とは別のもの。野町を治める人は，郷土の人から任命された横目・別当・町役，野町人の中から選ばれた小別当や年行事がこれにあっていた。

廃仏毀釈…「廃仏」は仏を廃し(破壊)し，「毀釈」は，釈迦の教えを壊(毀)すという意味。神仏習合を廃して神仏分離を推し進める，明治維新後に発生した一連の動きのこと。



廃仏毀釈で一部壊された慈眼寺跡の仁王像

宝篋印塔…墓塔・供養塔などに使われる仏塔の一種。宝篋印陀羅尼という呪文を納めたことからこの名がついたといわれる。

梵字…仏典を表記するのに使われた文字が仏教とともに中国や日本に伝来し，密教とのかわりて神秘化したもの。

棟札…寺社・民家など建物の建築・修築の記録・記念として，棟木・梁など建物内部の高所に取り付けた札。

元禄五年棟札(八幡神社)



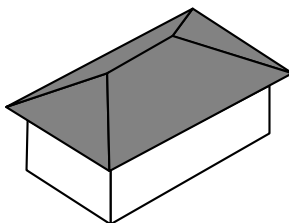
(鹿児島県教育委員会 1988『鹿児島県の近世社寺建築』より引用)

無縫塔…主に僧侶の墓として使われる石塔。塔身が卵型という特徴があり、「卵塔」とも呼ばれる。(その他の石塔については、P233～234を参照)



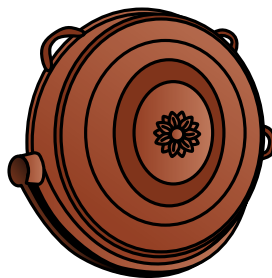
南泉院歴代住職の墓

寄棟造…建築技法の一つで、4つの面を寄せ合う形の屋根。(切妻が見えない屋根。)



連郭式城郭…曲輪の配置の一つで、本丸と他の曲輪を並列に並べたもの。他に本丸を取り囲むように曲輪が配置される輪郭式城郭などがある。

鱧口…神社仏閣の堂前に、布を編んだ太い綱とともにつるしてある円形の大きな鈴。中空で下方に横長の裂け目がある。参詣者が綱を振って打ち鳴らす。



溶結凝灰岩…火山噴火によって地上に放出された火砕流が堆積した後に、火砕流堆積物自身のもつ熱と圧力によって溶結してできた凝灰岩。



旧島津氏玉里邸庭園の石塀

索引

あ

赤倉病院の跡	105
赤崎海門誕生地	180
秋吉の馬頭観音	40
アコウ群	206
愛宕神社	100
愛宕神社	243
阿弥陀三尊石像（庚申待碑）	19
阿弥陀如来像	83
新垣筑兵衛と是枝生胤の墓	77
荒毛の田の神、地藏	23
荒田八幡宮	143
アラビア馬牧場跡	79
有馬新七居宅跡	216
有満金石工門奉寄進塔	23
有屋田氏の墓石跡	59
有屋田城跡	59
有屋田の庚申供養三層塔	58
有屋田の庚申供養塔	59
有屋田の南方神社	59
安藤照誕生地の碑	132

い

井穴洞窟	255
池田鼻の井堰と水神	48
伊佐智佐神社	195
石井手用水跡	170
石神丘の石祠	225
石組排水溝	116
石郷遺跡と洞窟跡	80
石谷永福寺跡	218
石谷城跡	218
石谷西の里程標	216
石谷の石坂	215
石谷の地藏像	216
石壇供養碑	189
伊地知季安の墓	101
伊地知正治誕生地の碑	129
石燈籠	135
石橋「岩戸橋」	45
伊集院小伝次の墓	192
伊勢ヶ丘の石造物	231
磯工芸館（旧島津家吉野殖林所）	67
磯珈琲館（旧芹ヶ野島津家金山鉱業事業所）	66
磯の造船所跡	72
一王子塔	41
市来四郎屋敷跡	99
一之宮神社	39
一里塚	256
井手上石井堰と桑原泉壽院	52
伊東祐亨元帥誕生地の碑	98
稻荷神社	88
稻荷神社と仁王像	51
稻荷神社の仁王像	26
伊邇色神社	165

井上良馨誕生地	130
射場山跡	184
伊牟田尚平誕生地	243
入来の田の神	182
岩村県令記念碑	96
岩屋観音	225
岩吉宅裏の山の神、石燈籠	13

う

上籠城跡	245
上園の田の神	49
上坊石塔群	223
上坊観音	223
牛掛灘の古戦場	138
後ヶ迫の秋葉神	40
後本の虚空蔵菩薩	28
内田上の僧侶墓	223
内田下の田の神	222
内之原の馬頭観音、石燈籠	27
宇都原遺跡	57
鶴木の田の神と石碑	10
鶴ノ木の馬頭観音と火の神	14

え

越後どん墓、石燈籠	21
エビス様社と石像	19
烏帽子嶽神社（本殿）	195
煙硝倉跡	184

お

大浦霊園の五輪塔群	53
大川内観音	188
大川寺跡（川田神社）	37
大口筋 白銀坂 龍門司坂	29
大久保利通誕生地	119
大下の馬頭観音	44
大鳥神社	231
大原遺跡	28
大平の田の神と馬頭観音	44
大山巖誕生地	129
大山津見神	33
大山祇神社・立神社社	197
御飯屋跡	198
沖小島砲台跡	201
御陣屋跡	145
小田代競馬場跡	248
小田代の供養塚	249
小田代の山之神	250
小田代馬頭観音	249
乙ヶ山の井堰と水神	48
小原権現	224
小原権現石塔群	224
御船手跡	145
織部型燈籠	162

か

海軍航空隊鹿児島基地跡	137
開成所跡	104
海浜院碑	147
皆房上の諏訪神社	175
皆房上の田の神	175
柿本神社	221
柿元の諏訪大明神	222
隠れ念仏洞	45
鹿児島(鶴丸)城跡	108
鹿児島旧港北防波堤灯台	122
鹿児島旧港施設 新波止 一丁台場 遮断防波堤	121
鹿児島銀行本店別館	122
鹿児島県民教育文化研究所	93
鹿児島県立鹿児島工業高等学校大煙突	163
鹿児島県立甲南高等学校本館	140
鹿児島県立中央高等学校本館及び講堂	117
鹿児島県立博物館(旧鹿児島県立図書館)	111
鹿児島市川上町の田の神	83
鹿児島市中央公民館	114
鹿児島市庁舎本館	114
鹿児島市西佐多町の吉田貝化石層	11
鹿児島市山田町の田の神	185
鹿児島神社	164
鹿児島戦没者墓地	156
鹿児島大学総合研究博物館常設展示室	139
鹿児島忠吉の宝塔	207
鹿児島紡績所跡	62
鹿籠殿墓	248
笠塔婆	208
梶原迫の田の神	141
歌人税所教子宅の跡	154
春日神社	89
カネサットン庚申石碑	22
懐良親王御所記念碑	181
加納久宜知事頌徳碑	116
樺山資紀邸跡	136
上久保の水神	257
上谷口(松元小)の里程標	222
上村彦之丞誕生地	128
鴨池の碑	147
鳥島砲台跡	203
川上操六大将誕生地碑	82
川口雪蓬(量次郎)の墓	102
川口の田の神	186
川路利良誕生地	171
川田城跡	38
川田氏累代墓石塔群	37
川田堂園供養塔群	38
川田橋	36
川畑の発電所跡	255
川村純義誕生地	144
上原巴碑・荒神	81

き

給黎城跡	242
キイレツチトリモチ産地	73
キイレツチトリモチ自生地	240
喜入のリユウキウコウガイ産地	253

喜入牧の笠跡	249
祇園之洲砲台跡	69
義士井尻半兵衛の墓	49
鬼子母神社の石祠・石燈籠・馬頭観音	30
北随神	143
木ノ下の田の神	180
木村探元誕生地	128
木村探元の墓	168
肝付家仮屋跡	244
肝付氏二代兼篤の墓	248
肝付氏歴代墓地	241
逆修五輪塔・宝塔群	207
旧鹿児島刑務所正門	150
旧鹿児島県庁舎正面門	113
旧鹿児島県立尋常中学校門	115
旧鹿児島紡績所技師館(異人館)	63
旧重富島津家別邸主屋・旧重富島津家別邸石塀	68
旧島津氏玉里邸庭園	161
旧島津氏玉里邸長屋門	162
旧射圃記	96
旧集成館 附 寺山炭窯跡 関吉の疎水溝(関吉の疎水溝)	82
旧集成館 附 寺山炭窯跡 関吉の疎水溝(寺山炭窯跡)	78
旧集成館機械工場	64
霧島神社	54
桐野利秋誕生地	74
桐野利秋田盧跡と田盧碑	20
桐野利秋屋敷跡	98
金峰山権現と二十三夜供養塔	14
金峰神社	12

く

潜水神社	51
草野貝塚	193
口ノ坪の五輪塔	232
久保園の石祠	258
久保山の田の神	44
熊鷹神社	228
熊野神社	57
熊野神社	217
供養薬山石室	14
倉谷の馬頭観音	32
倉谷の山神石祠・奉寄進塔	32
黒木為禎誕生地	129
黒地藏	238
黒田清隆誕生地	133
黒田清輝誕生地	125

け

桂庵墓	160
花倉坂の戦跡と磨崖梵字	80
袈裟どん寺師無縫塔・宝篋印塔	23
月照上人遺跡之碑	134
月照上人の遷化の碑	70
月照上人の追悼碑	70
月照の墓と不動明王像	123
月船寺跡	71
外戸口跡	32
花野の庚申供養塔	175
県政記念館(旧鹿児島県庁舎本館)	113
元文の板碑	137

県立博物館考古資料館	111
県里程元標	134

こ

幸加木神社	169
興化寺跡の五輪塔	11
孝行橋碑	96
弘治期の十三仏設齋碑	18
孝子碑	172
庚申供養石砌塔	36
庚申供養塔	194
庚申仁王石像	20
皇徳寺跡	188
高麗橋	148
小岡どんの石室、馬頭観音、田の神	27
郡山城跡	50
古木宅の山の神	13
国生先生記念碑	194
護国神社	164
五社大明神（月読神社）	202
後醍院真柱の誕生地	154
後醍院宗重夫妻の墓	51
五代友厚誕生地	105
五代友厚銅像	124
小鷹神社	174
見玉家住宅主屋・見玉家住宅井戸屋・見玉家住宅表門	151
御内用方の跡	74
小長崎神社	218
駒返り	238
小松帯刀屋敷跡	152
小山田発電所	173
五輪塔（オケサドン・伝相良八代実長夫妻の墓）	16
是枝柳右衛門頌徳碑	181

さ

西郷家の墓	152
西光山円照寺跡	50
西郷隆盛終焉の地	109
西郷隆盛蘇生の家	71
西郷隆盛誕生地	118
西郷隆盛洞窟	109
西郷隆盛銅像	110
西郷武屋敷跡	155
西郷従道誕生地	128
西郷南洲翁宅地跡	136
西郷南洲野屋敷の跡	157
西道の宝篋印塔	208
斉之平の田の神	138
坂本龍馬新婚の旅碑	137
下り山の山神	227
桜島	200
坐（座）禪石	163
薩藩水軍港跡	98
薩摩義士永田左左衛門の墓	82
薩摩義士の碑	110
里岳の阿弥陀堂	57
里岳の五輪塔群	56
里岳の水天と水神碑	56
里岳の宝塔	56
実方神社	76

実方太鼓橋跡	74
ザビエル滞甕記念碑	126
三条小鍛冶遺跡	190
三蔵塚の板碑	40
三方限出身名士顕彰碑	137

し

仕明の御山神	58
塩釜神社	135
塩釜神社	183
私学校跡石塀	107
直林寺跡	226
慈眼寺跡	192
寺社領「厚地村」標示の境界石	46
地頭仮屋跡	50
地頭館跡	180
篠原国幹誕生地の碑	130
島津歳久招魂碑	16
島津久光国葬道路	164
島津義弘蟄居跡	205
清水城跡	94
下坊上山の五輪塔	21
釈迦三尊碑	36
十三仏像	245
浄光明寺跡	97
招魂社	244
菖蒲谷の二十三夜待塔	84
縄文遺跡の石碑	92
諸禽供養塔	156
初代長太郎創業之地	183
女郎墓	197
白浜の石畳道	209
白浜屋敷	244
白山比咩神社	191
城山	106
心岳寺跡	68
新上橋	149
新寿安松の碑	195
新村の田の神	167

す

水神	208
水神社	251
水神碑	157
水天の碑	187
水道高槽	162
水道発祥の地	100
菅原神社	72
菅原神社と招魂の碑	50
調所笑左衛門広郷邸跡	126
錫鉞発見の碑	196
鈴のアツカドン	252
鈴の虚空蔵菩薩	252
鈴の田の神	252
涼松	21
雀ヶ宮のかくれ念仏洞穴	77
錫山	196
錫山の発見者八木元信の墓	196

せ

清泉寺跡	193
製綿紡績所址	145
製煉所址	146
世界で初めて精子が発見されたソテツ	112
石廟と宝篋印塔	56
関屋谷石塔群	80
関屋谷の岩木橋	33
瀬々串浦	236
瀬々串上集落の力石	236
瀬々串塩屋遺跡	236
瀬々串小学校跡	237
催馬楽の碑とたんたど	102
仙巖園附花倉御仮屋庭園	65
仙巖園内瀧遺池	66
千眼寺跡	153
善行寺	245
仙寿院跡	230
千手観音	246
千人仏遺跡供養板碑	22
戦没者慰霊塔	246

そ

造土館跡・演武館跡	117
僧俊寛の碑	124
園山池（タケコケモドキ）	209

た

第12郷校顕彰碑	77
大永期の勧請石碑	17
大英団地の地藏菩薩像	41
大永の名号板碑	139
大旱魃の碑	187
帝釈寺跡	191
大乘院跡	93
大門口砲台跡	136
大籠遺跡	100
大籠寺跡	97
高崎正風翁の碑	103
高島鞆之介誕生地	144
高城跡	173
田上水車館機械場跡	155
滝ノ下の田の神	185
武一丁目田の神	151
武員塚	204
武五輪塔残欠	203
武之橋	148
田代安定誕生地	132
谷口城跡（下椿城跡 上椿城跡）	221
谷下の田の神 阿弥陀堂	23
谷山城跡	181
田貫の恵比寿	257
駄馬落の跡	76
玉江橋	149
玉置一平安代の碑	242
垂門石井堰と水神	53
丹後局御腰掛石と町石	43
丹後局茶毘所跡	41
探勝園跡	115

ち

智賀尾神社	55
近都宮神社	46
知識兼雄の墓	33
潮音館（旧重富島津家住宅米蔵）	67
帖地遺跡	254
帖地の五輪塔	254
帖地の田の神	254
帖地の馬頭観音	255
帖地の山の神	255
長伝寺跡	172
鎮守神社	190
鎮守神社	228
鎮守神社	248
鎮守神社と御石様の碑	76

つ

鶴嶺神社	72
------	----

て

手形所跡・御蔵跡	197
鉄砲射場の跡	190
寺前の五輪塔と宝塔	25
寺山公園	78
照国神社	112
伝・秀頼の墓	182
天保山砲台跡	140
天文館	124

と

東郷重位拝領屋敷跡	125
東郷平八郎誕生地	131
東郷平八郎銅像	69
東照寺跡	229
東照寺跡の地藏堂	229
刀匠玉置家歴代の墓	240
東福寺城跡	70
道路開鑿記念碑	135
常盤五輪塔群	52
特殊羊歯類及び蘚類の自生地	210
床次竹二郎誕生地	127
都迫の庚申碑	26
都迫の三重石塔	27
都迫の念仏かくれ窟	26
どんもと五輪塔群	28

な

直木牟田の田の神	229
直木山方の田の神	229
中組の田の神	173
長沢鼎誕生地	142
永田遺跡	15
永田の田の神	184
長門城跡	203
長野館跡	239
中原遺跡	32
中原猶介宅跡	136
中福良の田の神	170
中名鉾山跡	239

永山武四郎誕生地	154
永吉水車館機織場跡	170
中坊の五輪塔群	207
名越佐源太屋敷跡	103
茄子田の光明真言梵字碑	46
茄子田の田の神	47
なぞの神様(塚どん)	28
名突観音像	168
七ッ島	195
七社神社	81
涙橋	144
波之平刀匠之遺跡	183
奈良原助八殉死之碑	99
楠公神社跡	215
南洲翁愛馬塚の碑	79
南洲翁開墾地遺跡碑	79
南洲神社電燈 一対	92
南洲墓地	91
南泉院歴代住職の墓	166

に

新納忠之介誕生地	127
仁王堂の水	98
仁王門跡の仁王像	44
西随神	143
西田の田の神	150
西田橋	148
西中の庚申塔	15
西中の古井戸	14
西本願寺別院	134
西俣上の水神	54
西俣上の馬頭観音	54
西山宗如師の墓	41
仁田尾後の地藏像	216
仁田尾中の御飯屋跡	217
仁田尾の水神	217
如意輪観音像	208

ぬ

生見の田の神	257
--------	-----

の

乃木静子誕生地	133
---------	-----

は

橋口五葉誕生地	132
柵馬場	238
八幡神社本殿 附宮殿、宮殿敷板1枚 棟札14枚	24
八田知紀誕生地	153
馬頭観音	239
花尾神社の石塔群	43
花尾神社の宝物と扁額	43
花尾神社本殿(附宮殿三基)・祝詞殿・幣殿・拝殿	42
花立の五輪塔群	22
林芙美子文学碑	210
早馬神社跡寄進碑と石祠	22
早馬大明神	224
早馬の馬頭観音	49
春山城跡	224
春山の石敢當	227

春山の太鼓橋	228
番所跡	236
伴接館跡	165
萬松山清涼院跡	246

ひ

東門の百左衛門夫妻の墓	39
東随神	143
東麓の石敢當	15
東日筋(日向筋)	30
東下の田の神	18
東下の馬頭観音石碑	19
彼岸田の井堰と水神碑	48
びくに坂	100
彦山神社	225
肥蔭線開通記念碑	156
比志鳥城跡	172
比志鳥薬師如来像	173
毘沙門城跡	40
毘沙門天	157
聖神社	227
聖ノ城跡	55
聖宮の六地藏塔	169
肥田の田の神	167
一倉の製鉄炉跡	250
日当山休儒どんの墓	101
火の河原跡	198
百田の庚申塔	232
百田の水神	231
平城跡	54
平田靱負屋敷跡	120
平原の毘沙門天像	53
広木の田の神	157
琵琶山城跡	244
鬻石	197

ふ

福昌寺跡	90
福山上の山伏荒神	219
福山上の里程標	219
福山下の阿弥陀如来石座像	220
福山下の石橋	219
福山下の水神碑	220
福山中の近世石碑	221
福山中の田の神	220
藤崎家の大楊梅	205
藤島武二宅跡	95
藤野の庚申塔	206
藤原(川上)昌久墓碑	97
二俣の五輪塔	209
札下の田の神	186
淵田の首無し地藏	247
仏智山津友寺跡	10
船魂神社	133
古殿の板碑	258
古殿の田の神	258
触田堰碑	19
噴火により埋没した鳥居	211
噴火により埋没した門柱	211

へ

辺田学館跡	191
別府晋介誕生地	75
紅ガラス製造所跡	147
白灰焼窯跡	250

ほ

方崎(穂崎)の庚申塔	201
砲術館跡	99
歩兵第45連隊跡	166
本名八幡の庚申石幢	25
本立寺跡	94

ま

前之浜二重橋	251
前之浜の比丘尼定阿五輪塔	251
前宗の地藏菩薩	13
前宗の水神	12
前宗の馬頭観音石像	13
前宗の山の神	12
牧雄吉胸像	76
町田家の墓	214
松尾城跡	16
松方正義誕生地	142
松原神社	135
松元下の田の神	222
松元町入佐の田の神	230
饑頭石	189

み

三重岳の牧神外	39
三重野観音	189
溝口の田の神像、山神石室	15
道秀の墓	256
南方神社	88
南方井堰水神群	38
南方神社	247
南方神社(川田)	37
南随神	143
南日本銀行本店	123
皆与志の庚申供養塔	174
皆与志の釈迦山摩崖仏	171
皆与志の六地藏塔	174
宮坂神社	242
宮崎神社	237
宮之浦の三重石塔	31
宮之城島津家墓跡	75
妙谷寺跡	165
妙楽寺跡	188
見寄板碑群	182

む

向江谷の馬頭観音	45
無縫塔	210
村田新八誕生地の碑	130
牟礼谷の馬頭観音、火の神、宮之浦の二十三夜待石祠	33
牟礼谷の牧神	30

も

餅ヶ岡の保食神	57
茂頭観音	189
旧籠の香梅ヶ洞	243
旧籠の田の神	247
旧籠の武家屋敷	241
茂柏山存庭院と僧侶墓	237
森有礼誕生地	95
森園の田の神	226

や

矢上城跡	101
葉師山の庚申塔	77
八坂神社	88
八房神社	166
山祇神社の庚申水鉢	53
山本英輔誕生地	131
山本権兵衛誕生地	131
弥生式住居跡	138

ゆ

雄風亭記碑	156
雪元入口の庚申供養塔	58
油須木の馬頭観音	47
油須木の毘沙門天	47

よ

幼年学校跡碑	116
横井の野町	168
横山(袴腰)砲台跡	202
横山安武・森有礼成育の地	104
吉野牧場跡	81
吉野薬園跡	75
吉水水源地の二十三夜待塔、石祠、仏像	31
吉水の阿弥陀像、田の神	31
与次郎ヶ浜の碑	146
米倉城跡	252
米倉神社(羽出島神社)	256

り

龍王山源廣院跡	257
琉球館跡	103
琉球松(琉球人松)	71
龍山和尚の墓	226

ろ

六地藏尊	169
六地藏塔残欠	204
六字名号供養百万遍石塔	17

わ

若き薩摩の群像	141
若宮神社	89
和田井堰の水神・記念碑群	55
炭野の田の神	187

あとがき

本書は、鹿児島市教育委員会が昭和59年3月に刊行した「鹿児島市の史跡めぐりガイドブック」の五訂版です。

これまで市内の文化財に対する理解を深めるため、小・中学生の皆さんをはじめ、市民の方々にご利用いただいておりますが、既に残部もなくなり、多くの方々の要望に答えられなくなりましたこと、文化財の位置や様子が変わってきましたこと、また合併により市の区域が拡大しましたことなどもありまして、改訂することにいたしました。

この本ではできるだけ多くの文化財を掲載するために、サイズをひとまわり大きくしたり、史跡めぐりをしやすいように地図をつけたりするなど、限られたページ数の中で、内容の充実と活用の便を考えて編集にあたりました。

本市の文化財は、これまでいくたの困難を克服して、より豊かなふるさとを…と願い築いてこられた私たちの祖先や、先覚者たちの歴史の結晶です。しかし、この本に載せられたものは、そのほんの一部に過ぎません。私たちの身の回りをとりまく環境には、まだまだ埋もれている文化財のあることを考えながら、さらに将来に向かって文化財を守り、生かしていきたいと考えます。

本書の刊行にあたっては、史跡めぐりガイドブック編集委員の皆さまにご指導とご援助をいただきました。また快く資料を提供していただきました尚古集成館や鹿児島県教育委員会、鹿児島県立図書館、石橋記念館、鹿児島県歴史資料センター黎明館、南九州城郭研究会、南九州石塔研究会等、お世話になりました皆さまに心よりお礼申し上げます。

参考文献

- 鹿児島県 1980「鹿児島県史 第二巻」
鹿児島県教育委員会 1988「鹿児島県の近世社寺建築」
尚古集成館 1991「島津家おもしろ歴史館」
鹿児島県歴史資料センター黎明館 1987「黎明館企画特別展 田の神 展示図録」
南九州城郭談話会 2005「南九州城郭研究」第三号
鹿児島県土木部都市計画課編 2000「鹿児島県 石橋記念館 展示解説書」財団法人 鹿児島県建設技術センター
南九州石塔研究会40周年記念実行委員会編 2014「鹿児島県の石塔図録（第一集）－中世－」南九州石塔研究会
谷山観光協会 2014「ふるさとの歴史ガイド 谷山の歴史と文化財」
南日本新聞社 1981「鹿児島大百科事典」
農山漁村文化協会 1999「江戸時代 人づくり風土記 46 鹿児島」
柳澤伊佐男 2015「明治日本の産業革命遺産」
鹿児島商工会議所編 2015「増補改訂版 かごしま検定－鹿児島観光・文化検定 公式テキストブック－」南方新社
島津修久編 2008「島津歴代略記」島津顕彰会
桜島町郷土誌編さん委員会編 1988「桜島町郷土誌」桜島町
喜入町郷土誌編集委員会編 2004「喜入町郷土誌」喜入町
鹿児島市 1955「鹿児島のおいたち」
谷山市誌編纂委員会編 1967「谷山市誌」谷山市
吉田町郷土誌編纂委員会編 1991「吉田町郷土誌」吉田町
松元町郷土誌編さん委員会編 1986「松元町郷土誌」松元町
郡山郷土史編纂委員会編 2006「郡山郷土史」鹿児島市教育委員会
鹿児島市史編さん委員会編 1969「鹿児島市史Ⅰ」鹿児島市
鹿児島市史編さん委員会編 1970「鹿児島市史Ⅱ」鹿児島市
鹿児島市史編さん委員会編 1971「鹿児島市史Ⅲ」鹿児島市

鹿児島市史跡めぐりガイドブック編集委員（敬称略、五十音順）

- 秋吉 龍敏（中央、桜島地区）
郡山 繁幸（郡山地区）
戸崎 勝洋（伊敷、谷山、松元地区）
野元 教朗（吉田、吉野・磯地区）
浜田 徳則（喜入地区）

鹿児島市 史跡めぐりガイドブック －五訂版－

昭和59年3月初版発行
平成元年3月改訂発行
平成2年6月三訂発行
平成11年3月四訂発行
平成28年3月五訂発行

鹿児島市教育委員会
印刷 瀬上印刷株式会社